

AGCエンジニアリング株式会社のご案内

Environmaintenance for a Blue Planet

私たちは、環境にやさしいサービス・製品を通じて社会に貢献します

●環境技術・AGC素材を用いたトータルソリューションを提供し、お客様の多様なニーズに応えます

AGC旭硝子のイオン交換膜素材をベースに
これまでの技術開発や多くの実績と経験から、
お客様に最適なイオン交換膜プロセスや膜式ドライヤー製品をご提供します。

■イオン交換膜「セレミオン®」

「セレミオン®」は、AGC旭硝子が開発・製造する炭化水素系のイオン交換膜です。

○電気透析装置

直流電流を駆動源とした脱塩・濃縮装置

- ・イオン交換樹脂のような再生操作が不要で薬剤の使用量を大幅に削減可能
- ・イオン交換膜を透過しない非イオン性化合物(有機物)と塩を効率的に分離



「セレミオン®」電気透析装置

用途例

- ・海水濃縮による食塩製造
- ・各種食品の脱塩及び濃縮、分離・精製(醤油、アミノ酸、梅調味液等)
- ・各種工程廃水の脱塩再利用
- ・最終処分場浸出水の脱塩及び濃縮

○拡散透析装置

金属表面処理工程等から排出される金属塩を含んだ廃酸液から
遊離酸のみを分離回収



「セレミオン®」拡散透析装置

用途例

- ・各種金属表面処理液の精製・酸回収

■メンブレン式ドライヤー(中空糸膜式)「サンセップ®」

「サンセップ®」は、AGC旭硝子のフッ素系イオン交換樹脂を用いた中空糸膜で、
水蒸気分圧差を駆動源としてガス除湿または加湿を行う装置です。

用途例

- ・圧縮空気の除湿
- ・各種サンプルガスの除湿
- ・酸素・水素ガス等の加湿



「サンセップ®」製品シリーズ

長年培った技術をベースに製品の特性を活かしたシステムをご提供するとともに、
これらの開発、製造、建設、メンテナンス技術のシナジーにより、
社会の高機能ニーズにお応えします。

■黒煙除去装置「エコセーフ®」(高温ガス乾式集塵装置)

「エコセーフ®」は、人体や環境への影響が懸念されているディーゼルエンジン
排ガスの黒煙(すす)を98%以上除去する、定置式の集塵装置です。
高温ガスの集塵に高い性能を発揮する当社独自のクロスフロー型セラミック
フィルターにより、長寿命、低ランニングコスト、省スペースを実現しています。
常用・非常用発電設備、自家発電設備やエンジン試験設備、ポンプ場の排水
ポンプなどの黒煙対策に、優れた性能を発揮します。



黒煙除去装置「エコセーフ®」

AGC旭硝子のフッ素樹脂製品の加工業務を受託し、製造を行っています。

■AGC旭硝子フッ素樹脂製品の製造受託



フッ素樹脂加工製品

会社概要

商号	AGCエンジニアリング株式会社
英文商号	AGC Engineering CO., LTD.
設立	1959(昭和34)年7月1日
資本金	3億円
従業員数	140名
代表者	代表取締役 社長 近藤 伸二
株主	旭硝子株式会社【100%出資】

事業内容

- イオン交換膜「セレミオン®」の販売
- メンブレン式ドライヤー(中空糸膜式)「サンセップ®」の製造・販売
- 黒煙除去装置(高温ガス乾式集塵装置)「エコセーフ®」
- AGC旭硝子フッ素樹脂製品の製造受託

許可・登録

- 建設業 国土交通大臣許可 第7926号
(特)土木、とび・土工、管、鋼構造物、ほ装、塗装、
機械器具設置、水道施設
- 毒物・劇物一般販売業
千葉市登録、大阪市登録、福岡市登録

事業拠点

本社	〒261-7119	千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1 WBGマリブウエスト19階	TEL 043-350-3366 FAX 043-350-3383
・東京営業所	〒104-0042	東京都中央区入船一丁目6番8号 第5ヒロタビル2階	TEL 03-5540-2915 FAX 03-5540-2916
・大阪営業所	〒530-0012	大阪府大阪市北区芝田一丁目1番4号 阪急ターミナルビル12階	TEL 06-6373-5800 FAX 06-6373-5813
・福岡営業所	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前二丁目2番1号 福岡センタービル4階	TEL 092-473-8791 FAX 092-414-2860
千葉工場	〒290-8510	千葉県市原市八幡海岸通38番地	TEL 0436-41-1151 FAX 0436-41-9860

沿革

当社は1959年(昭和34年)7月に旭硝子株式会社の関連会社(株)京葉製作所として設立、主に化学プラント用機器・据付・配管工事、メンテナンスを手掛けてまいりました。

1985年(昭和60年)、環境・公害防止関係設備の事業会社である旭硝子環境エンジニアリング(株)と合併、これまで事業を拡充しました。以来、エンジニアリング部門で多くの実績をあげるとともに、高機能工業製品も創出しております。

2007年(平成19年)7月に、AGC旭硝子グループのグローバル一体経営の更なる深化のため、社名を現在のAGCエンジニアリング(株)に改めました。2013年(平成25年)1月、カンパニービジョン“Environmaintenance for a Blue Planet”を掲げて、コア事業である環境ビジネスとメンテナンスサービスビジネスを中心に事業展開をおこなっています。

1959年 7月(昭和34)	(株)京葉製作所を市原市五井海岸に設立 資本金5,000万円
1966年10月(昭和41)	増資(資本金1億円)
1976年12月(昭和51)	旭硝子(株)千葉工場の施設部門を統合
1984年10月(昭和59)	旭硝子(株)千葉工場の電気課を統合
1985年 4月(昭和60)	旭硝子環境エンジニアリング(株)と合併し社名を旭硝子エンジニアリング(株)に変更増資(資本金3億円)
1999年10月(平成11)	本社・東京支社を統合し本社を千葉市美浜区中瀬に移転経営資源の集約化、総合力の強化を図る
2001年 4月(平成13)	セレミオン事業部を新設
2003年 1月(平成15)	金型事業部門の分社化
2004年 4月(平成16)	AGC旭硝子よりエコセーフ事業移管
2005年 1月(平成17)	STセンターを北九州市戸畑区に開設
2005年12月(平成17)	マネジメントシステム(QMS、EMS、OHSMS)を統合、GMS(Generic Management System)として運用開始
2007年 7月(平成19)	社名を旭硝子エンジニアリング(株)からAGCエンジニアリング(株)へ変更
2008年 1月(平成20)	セレミオン事業部と機能商品事業部を統合し、現メンブレン事業部を発足
2008年12月(平成20)	RCP事業推進室を設置、AGC旭硝子フッ素樹脂製品の製造準備開始
2009年11月(平成21)	AGC旭硝子フッ素樹脂製品の製造開始
2013年 1月(平成25)	プラント事業部 幕張営業所を新設
2013年 1月(平成25)	プラント事業部 東京営業所を新設
2013年 1月(平成25)	RCP事業推進室を現コンパウンドグループへ名称変更
2015年 1月(平成27)	東日本支店を廃止
2017年 2月(平成29)	西日本支店を廃止
2017年 3月(平成29)	STセンターを廃止
2017年 3月(平成29)	事業再編により一部の事業をAGC旭硝子に事業譲渡し、プラント事業部、同幕張営業所、エンジニアリング部、千葉・鹿島事業所を廃止